

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	森本 幾子	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	日本近世・近代期流通経済史		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	経済史、地域経済史、日本経済史、日本歴史の流れ、専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰb 専門演習Ⅱa、専門演習Ⅱb、基礎演習Ⅰ
大学院	日本経済史持論、研究指導Ⅰ、研究指導Ⅱ
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）日本近世・近代期の流通経済史	
（2）幕末期広島藩の研究	
（3）近世後期の文化交流史	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4	
R6〈研究会発表〉「社会経済史学会 日本近世経済史研究の回顧と展望」社会経済史学会第94回全国大会準備報告（2024年9月29日）〈展示記録〉平山直樹・吉田宰・藤本真理子・森本幾子「〔報告〕令和6年度尾道市立大学学長裁量教育研究費による「尾道の「顔」形成の基礎的研究」ポスター展示」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第24号（2025年3月）	
R5〈論文〉「近世後期尾道における消費活動と旅人―来訪者の受容と地域社会の変容―」 〈単著〉（『尾道市立大学経済情報論集』第23巻第1号（2023年6月、101頁～140頁） 〈学会発表〉「シンポジウム 近世近代の尾道港とその管理」コメンテーター （芸備地方史研究会大会、2023年9月16日） 〈研究報告〉「令和五年度尾道市立大学学長裁量研究費による「尾道の「顔」一町としてのイメージ形成」 ミニ報告会」（『尾道文学談話会会報』第14号、2024年3月）	
R4〈論文〉「幕末・明治期阿波国廻船の経営と奉納」 〈単著〉（『K-特集 海道を行く』5号、特定非営利活動法人 Knit-K、2023年3月） 〈資料〉『新尾道市史 資料編 近世』（尾道市史編さん委員会、2023年3月 *第九章「産業の発達と展開」、 第十二章「生活・文化」を担当。）	
R3以前の主な研究業績	
（1）〈単著〉森本幾子『幕末・明治期の廻船経営と地域市場 - 阿波国撫養山西家の経営と地域 - 』（清文堂出版、2021年、ISBN:978-4-7924-1482-5 638頁）	
（2）〈論文〉「幕末期中央市場の金融機能と商人経営―阿波国撫養山西家の廻船経営から―」 〈単著〉（『尾道市立大学経済情報論集』第20巻・第1号、2020年7月、105頁～140頁）	
（3）〈論文〉「近世近代以降期の商人資本と地域経済―山西家による肥料代金決済をめぐる―」 〈単著〉（『徳島発展の歴史的基盤―「地力」と地域社会―』雄山閣出版、2018年）247頁～270頁。	
（4）〈論文〉「19世紀における阿波商人の経済活動と奉納」 〈単著〉（『徳島地域文化研究』第16号、2018年）60頁～73頁。	
（5）〈論文〉「天保期広島藩政と二葉山御社造営事業―太祖浅野長政の「神格化」―」〈単著〉（『芸備地方史研究』第307号、2017年）1頁～22頁。	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R4・R5・R6	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
大阪歴史学会、地方史研究会、社会経済史学会、徳島地方史研究会、徳島地域文化研究会、芸備地方史研究会	
IV 社会活動	
1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）	
（1）「北前船商人と瀬戸内地域の経済的、文化的交流」第37回全国北前船セミナー基調講演（8月25日 石川県加賀市）	
（2）「尾道と来訪者の歴史」森本研究室公開講座「尾道の歴史的遺産と集客―学生アイデアから―」における講（12月22日 尾道商業会議所記念館2階議場）	
（3）「近世後期尾道における消費活動と旅人―来訪者の受容と地域社会の変容―」尾道カルチャークラブ講演（2025年3月22日 グリーンヒルホテル尾道）	
（4）学長裁量教育研究費「尾道の「顔」形成の基礎的研究」の研究成果の展示（令和6年12月7日、しまなみ交流館2階ホワイエにて「おのみち文学三昧」と同時開催）	
公開講座	1 回
講演会	2 回

令和6年度教育研究活動報告書

氏名	森本 幾子	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	日本近世・近代期流通経済史		

その他（展示、ラジオ出演、尾道ケーブルテレビ出演）	3回
<p>（公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入）</p> <p>上記の講演のほか、森本研究室公開講座「尾道の歴史的遺産と集客—学生アイデアから—」の広報のため、エフエムおのみち（ラジオ）および尾道ケーブルテレビにそれぞれ1回ずつ出演した。ゼミの公開講座については、学内においては、本学ホームページや『尾道大通信（2025年春号）』に掲載され、また学外では、『中国新聞』（2024年12月）、『中国新聞』web版（2024年12月）、『尾道新聞』（2024年12月）誌面においてそれぞれ広報された。その他、「尾道学入門」では、ガイダンスおよび外部講師回の採点確認、教養講座では、10月土曜のスペシャル講座の補助業務や経済情報学科教員担当回の司会を担当するなど、継続して学外活動を行った。また、学長裁量教育研究費の活動では、上記（4）で提示したポスター展示（2024年12月）のほか、尾道市立大学ホームページにおける情報公開“Sharing Research Information with the World（研究情報の国際発信）”を行い、2024年11月には、尾道の「顔」研究会メンバーの教員3名で尾道市市史編さん室を訪れ、「おのみち文学三昧」でのポスター展示の内容に関する「大藤忠兵衛旧蔵引き札コレクション」内の引き札を閲覧し、その特徴を記録する活動を実施した。</p>	

2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市史編さん委員会	委員	1回
	尾道市史編集委員会専門部会（近世委員）	委員	1回
	尾道市文化財保護委員会	委員	1回
	尾道市まちなみ形成推進委員会	委員	1回
	海事都市尾道推進協議会	委員	0回
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（2）尾道市以外	三原市文化財保護審議会	委員	1回
	竹原市製塩業史編さん委員会	委員	1回